

ミクロネシアの環境から学ぶ 海洋プラスチックごみ問題の行方

Micronesia
- YAP - CHUK - POHNPEI - KOSRAE -

綺麗な海に囲まれ、607の島々からなるミクロネシア連邦。
このような素晴らしい自然を持つミクロネシア連邦が直面している環境問題について、
海洋プラスチックごみ問題を中心に駐日ミクロネシア連邦大使による講演会を開催します。

2/25(日)
13:00 ~ 15:00
(12:30受付開始)

会場：船橋市勤労市民センター ホール
(JR船橋駅 徒歩約5分)

参加費：無料

定員：200名(多数は抽選)

申込方法：裏面をご確認下さい

申込期日：令和6年2月5日(月)まで

主催：船橋市



イベントHP

講師紹介

ミクロネシア連邦大使館 特命全権大使
ジョン フリッツ 閣下

【テーマ】ミクロネシア連邦の紹介と
直面している環境問題

ミクロネシア連邦チューク州出身。
東海大学卒。
2008年ミクロネシア連邦大使館
特命全権大使に任命。



日本大学生産工学部 准教授(工学博士)
中村 倫明 先生

【テーマ】海洋プラスチックごみ問題
と船橋市の現状・対策

土木工学科所属。
主な論文に「船橋市沖合の海底土
におけるマイクロプラスチック
汚染実態の把握」



応募・問い合わせ先 船橋市環境保全課
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電話：047-436-2456

ミクロネシア連邦

ミクロネシア連邦は、太平洋西部に位置し赤道のすぐ上を東西約2,500キロに渡って広がるヤップ・チューク・ポンペイおよびコスラエの4州と607の小さな島々からなる人口約11万人の連邦国家です。

日系人比率が世界一高い国であり、一説によると5人に1人が日本の血を引いていると言われています。



ミクロネシア連邦大使館 HPより

ミクロネシア連邦と船橋市

船橋市とミクロネシア連邦は、チューク州ザビエル高校の生徒が市立船橋高校の学習体験やクラブ活動に参加したり、令和4年3月に市で役目を終えた消防車をチューク州に贈呈するなど、交流を深めてきました。

昨年度には、船橋市国際交流協会主催、船橋市共催により、市内で国際理解セミナーを開催し、歴史や文化を学びました。

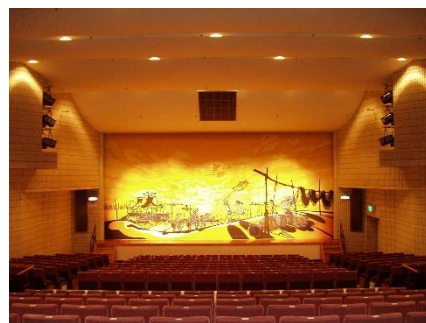
今回は環境をテーマに講演会を開催します。



消防車贈呈式の様子

当日プログラム（予定）

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会挨拶
- 13:05 ジョン フリッツ 閣下 基調講演(45分)
- 13:50 質疑応答(20分)
- 14:10 休憩(10分)
- 14:20 中村 倫明 先生 講演(30分)
- 14:50 質疑応答(10分)
- 15:00 閉会



船橋市勤労市民センターホール

申込方法

参加者全員の氏名、代表者の住所・電話番号、を記載のうえ、郵便、FAX、メール、オンライン申請システムにより下記までご応募下さい。オンライン申請システムは右の二次元コードから確認出来ます。

申込先：船橋市環境保全課

住所：〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

FAX：047-436-2446

メール：kankyohozen@city.funabashi.lg.jp



オンライン申請

申込期日は令和6年2月5日(月)までとなります。

本講演会は、学びポイント対象事業です。
学びポイントについての詳細は右の二次元コードからご確認下さい。



←
学びポイントHP